

ChatGPT のインパクトをかんがえる

生成 AI と教育、コミュニケーション

どなたでも参加 OK !
もしかしたら飛び入り登壇も ! ?

6/14 (WED)

16:30 ~ 17:30 [延長あり]

茨城大学水戸キャンパス図書館本館
3 階ライブラリーホール [16:15 開場]

ユーザーの働きかけに対して瞬時に文章を生成する ChatGPT のデビューは、世界に衝撃を与え、利用が急速に広がっています。私たちの思考や社会への影響を懸念し、政府レベルでの規制が検討される一方、機械学習の進展という点ではそこまで大きなステップではないという見方もあります。今回のクロストークでは、自然言語処理・機械学習について長年研究を続ける理工学研究科（工学野）の新納浩幸教授が、ChatGPT に代表される生成 AI の技術的なポイントを解説します。その解説を踏まえ、道德教育などが専門の全学教職センター・宮本浩紀助教を交えたクロストークを通じて、そのインパクトを見きわめ、教育やコミュニケーションに関する課題を考えます。

基調報告

ChatGPT とは何か—機械学習の歴史から見た AI の現在地

新納 浩幸 Shinnou Hiroyuki

茨城大学大学院理工学研究科（工学野）教授

クロストーク

新納 浩幸 Shinnou Hiroyuki

茨城大学大学院理工学研究科（工学野）教授

宮本 浩紀 Miyamoto Hiroki

茨城大学全学教職センター 助教

進行

山崎 一希

茨城大学広報室 主幹専門職

新納 浩幸

1961 年生まれ。1987 年東京工業大学大学院情報科学研究科修了（修士）。富士ゼロックス株式会社、松下電器産業株式会社を経て、1993 年茨城大学工学部に着任。1997 年博士（工学）を取得後、現在に至る。専門は自然言語処理、機械学習。動物全般が好き。

宮本 浩紀

1986 年生まれ。2016 年早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程を単位取得満期退学。信州豊南短期大学専任講師などを経て 2019 年 4 月より現職。教育学研究科助教も兼ねる。専門は教育方法論、道德教育、教育哲学。趣味は映画鑑賞。「毎日何かは観ています」

本イベントは学内外問わずどなたでも申込不要でご参加いただけます。
また茨城大学の学生・教職員向けには Teams でも配信します（参加方法はメールでお知らせします）。